

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 大  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059-227-2932  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,756	2.0	75	△32.4	81	△29.8	49	△55.2
24年3月期第2四半期	1,722	3.7	110	—	116	—	110	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 50百万円(△50.1%) 24年3月期第2四半期 101百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6 31	—
24年3月期第2四半期	14 08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,415	1,906	43.2
24年3月期	4,328	1,893	43.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,906百万円 24年3月期 1,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	4 00	4 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	5.7	170	22.3	175	19.9	100	△48.9	12 71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	8,257,600株	24年3月期	8,257,600株
25年3月期2Q	392,715株	24年3月期	392,637株
25年3月期2Q	7,864,922株	24年3月期2Q	7,866,246株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり、緩やかに回復しつつありましたが、海外経済の減速により景気減速の懸念が強まってまいりました。

そのような状況の中、当社グループでは、積極的に製品開発に取り組み、主力商品である土木工事積算システムの新バージョンを9月に投入いたしました。また、建設、設備関連からさらに幅広い領域に事業ドメインを広げるべく、プロジェクト・マネジメント分野への取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して2.0%増加し、1,756百万円となりました。

利益面では、プロジェクト・マネジメント分野における海外市場開拓に伴う費用が増加したことから、経常利益は前年同期に比して29.8%減少し、81百万円となりました。また、四半期純利益は、東京事務所の移転に伴う特別損失(13百万円)を計上したことなどにより、前年同期に比して55.2%減少し、49百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、9月に主力商品である土木工事積算システムの新バージョンを投入しましたが、投入後間もないこともあり当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して2.5%減少し、1,342百万円となりました。

利益面では、プロジェクト・マネジメント分野における海外市場の開拓に積極的な投資を行ったことから、セグメント利益は前年同期に比して76.4%減少し、21百万円となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業におきましては、営業人員の拡充に加えて前期に行った営業エリアの拡大による効果もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して19.7%増加し、413百万円となりました。売上増に伴い、セグメント利益は、前年同期に比して112.1%増加し、64百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、4,415百万円となりました。これは主に、現金及び預金が158百万円増加し、保証金などの減少により投資その他の資産が73百万円減少したことなどによるものです。

##### (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて73百万円増加し、2,508百万円となりました。これは主に、賞与引当金が23百万円、退職給付引当金が21百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

##### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて13百万円増加し、1,906百万円となりました。これは主に、四半期純利益49百万円を計上し、利益剰余金31百万円を配当したことなどにより、利益剰余金が12百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント減少し、43.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて108百万円増加し、1,080百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は167百万円（前年同四半期は267百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益67百万円や売上債権の減少32百万円などの収入があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は63百万円（前年同四半期は12百万円の収入）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入43百万円などがあったものの、定期預金の預け入れによる支出50百万円（純額）、有形固定資産の取得による支出27百万円などがあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は31百万円（前年同四半期は0百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払30百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成24年5月11日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、Being Global Services, LLCは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,867	1,639,869
受取手形及び売掛金	578,340	545,362
有価証券	712,925	708,799
商品及び製品	363	617
原材料及び貯蔵品	3,725	6,640
繰延税金資産	197,614	209,081
その他	19,401	19,956
貸倒引当金	△1,000	△1,050
流動資産合計	2,993,239	3,129,277
固定資産		
有形固定資産	234,073	251,922
無形固定資産		
のれん	351,815	341,260
その他	42,831	59,459
無形固定資産合計	394,646	400,720
投資その他の資産		
投資有価証券	313,314	319,805
その他	405,340	325,671
貸倒引当金	△12,135	△12,135
投資その他の資産合計	706,518	633,341
固定資産合計	1,335,238	1,285,984
資産合計	4,328,478	4,415,262
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,489	57,440
未払法人税等	23,082	34,562
前受収益	707,503	701,629
賞与引当金	107,781	130,905
その他	206,540	214,721
流動負債合計	1,091,396	1,139,258
固定負債		
退職給付引当金	322,164	344,114
役員退職慰労引当金	2,795	3,296
繰延税金負債	168	701
長期前受収益	1,015,947	1,018,820
その他	2,915	2,429
固定負債合計	1,343,991	1,369,363
負債合計	2,435,387	2,508,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	271,323	284,037
自己株式	△85,671	△85,682
株主資本合計	1,970,134	1,982,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77,044	△77,177
為替換算調整勘定	—	979
その他の包括利益累計額合計	△77,044	△76,197
純資産合計	1,893,090	1,906,640
負債純資産合計	4,328,478	4,415,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,722,437	1,756,355
売上原価	455,163	462,025
売上総利益	1,267,274	1,294,330
販売費及び一般管理費	1,156,306	1,219,297
営業利益	110,967	75,032
営業外収益		
受取利息	7,292	6,044
受取配当金	132	152
雑収入	669	1,923
営業外収益合計	8,094	8,120
営業外費用		
支払利息	25	25
投資事業組合運用損	681	—
障害者雇用納付金	600	1,440
雑損失	1,507	88
営業外費用合計	2,814	1,554
経常利益	116,246	81,598
特別損失		
固定資産除却損	2,769	1,291
投資有価証券評価損	1,050	—
事務所移転費用	623	13,106
特別損失合計	4,442	14,398
税金等調整前四半期純利益	111,803	67,200
法人税、住民税及び事業税	9,967	29,081
法人税等調整額	△8,904	△11,500
法人税等合計	1,063	17,581
少数株主損益調整前四半期純利益	110,740	49,619
四半期純利益	110,740	49,619



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,740	49,619
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,520	△132
為替換算調整勘定	—	979
その他の包括利益合計	△9,520	847
四半期包括利益	101,220	50,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,220	50,466
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	111,803	67,200
減価償却費	24,879	17,402
のれん償却額	10,554	10,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	301	50
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,879	23,124
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,995	21,950
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	510	501
受取利息及び受取配当金	△7,424	△6,196
支払利息	25	25
投資有価証券評価損益(△は益)	1,050	—
投資事業組合運用損益(△は益)	681	—
固定資産除却損	2,769	1,291
事務所移転費用	623	13,106
売上債権の増減額(△は増加)	134,047	32,978
たな卸資産の増減額(△は増加)	△643	△3,169
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,553	10,950
未払又は未収消費税等の増減額	9,478	△6,505
前受収益の増減額(△は減少)	△5,588	△5,874
長期前受収益の増減額(△は減少)	△8,115	2,873
その他	△7,369	12,433
小計	277,904	192,697
利息及び配当金の受取額	6,919	5,761
利息の支払額	△25	△25
移転費用の支払額	△623	△13,106
法人税等の支払額	△17,029	△17,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,145	167,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△125,000	△168,000
定期預金の払戻による収入	150,000	118,000
有価証券の取得による支出	△184	△100,161
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,780	△27,054
無形固定資産の取得による支出	△8,834	△25,940
投資有価証券の取得による支出	△2,099	△1,770
敷金及び保証金の差入による支出	△2,381	△1,685
敷金及び保証金の回収による収入	4,425	43,118
保険積立金の積立による支出	△233	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,911	△63,598

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△485	△485
自己株式の取得による支出	△95	△11
配当金の支払額	—	△30,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△581	△31,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	789
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,474	73,777
現金及び現金同等物の期首残高	748,235	972,867
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	34,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,027,710	1,080,869

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,376,831	345,605	1,722,437	—	1,722,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,262	1,800	5,062	△5,062	—
計	1,380,093	347,405	1,727,499	△5,062	1,722,437
セグメント利益	91,313	30,208	121,522	△10,554	110,967

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,342,771	413,583	1,756,355	—	1,756,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,690	—	13,690	△13,690	—
計	1,356,461	413,583	1,770,045	△13,690	1,756,355
セグメント利益	21,506	64,080	85,586	△10,554	75,032

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。